



進路通信

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
発行 進路指導部

短期インターンシップを終えて

1年生の「短期インターンシップ」は、各企業のご協力のもと、1月26（月）～1月30日（金）の期間で無事に3日間実施することができました。

生徒たちにとっても、本校に入学して初めての本格的な就業体験でしたが、学校に戻った生徒たちからは、「良い経験ができた」「少し自信がついた」「また行きたい」「学校とは違い、仕事の大変さが分かった」など、達成感や働くことへの意欲の向上とともに課題意識を表す声が多く聞かれました。今回の経験を、今後の学校生活にも活かして行ってほしいと思います。

保護者の皆様には、日誌のご記入や食事や睡眠、体調管理等、さまざまご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。

事後学習 生徒の感想（わかったこと・気づいたこと・働く上で大切なこと）

飲食・厨房

- 体調、衛生管理をしっかりする。
- 職場では体力も必要。
- 「働く」とは責任をもって仕事をして、給料をもらうこと
- 学校では先生にだけ敬語を使う。職場では常に敬語を使う。
- 作った料理で利用者様に楽しんでもらうこと。
- 休憩中にメモを見返す。
- 声をかけあって協力し、自分から報告すること。
- 自分から挨拶をしたり、質問したりすることが大切。
- 仕込み作業などはすごくやりがいがあった。
- ミスをしたらすぐに相談することが大切。

小売販売

- 学校で習っている4Sやあいさつは当たり前。
- 1つのあいさつで気持ちよく買い物をしてもらうことができること。
- 会社の人にも元気にあいさつをすることで、コミュニケーションをとりやすくなり、仕事が楽しく感じる。
- コミュニケーションとチームワークが大切。
- 「いらっしゃいませ」と「ありがとうございます」を何回も口にすると気分がとても良くなる。
- 一つひとつの作業に責任感があること。
- お客様のための思いやりが大切だと思いました。
- メモをすることの大切が分かりました。

製造（食品）

- お客様に届く前の大切な作業だと分かった。
- 働いている人たちは、よく周りを見ていることに気づいた。
- 報告・連絡・相談の大切さを理解することができた。
- 楽な仕事がない事が分かった。
- 食品製造は体力が必要である。

物流

- 商品を大切に扱う。
- けがをしない。
- 相手に聞こえる声量で話す。
- フォークリフトが来たら3メートル離れる。
- 5分前行動をする。
- 休憩中の過ごし方。
- 相手のことを考えながら箱を作る。

清掃

- 時間内に作業を終わらせることが大切。
- 物の管理が大切。 ○体力、健康。
- 周囲の安全を守る。 ○意欲、やる気。
- 仕事は、与えられるものではなく自分で作り出す。
- 皆が使うトイレを清掃すると達成感を得られる。
- 相手に聞こえる声で挨拶、返事、報告・連絡・相談をすること。
- 感謝の気持ちを伝えること。素直な姿勢。
- 特に必要な力は、チームで働く力でした。

園芸

- 日頃からメモを取る。
- あいさつをしっかりとる。
- 身だしなみやマナーに気を付ける。

介護

- 常に思いやりをもって接する。
- 手順やマナー・ルールをについて意味を理解して行動する。
- 周りをしっかり見て、臨機応変に行動する。
- 率先して仕事を受け持つ。
- 利用者様の安全を第一に考える。
- 適切な声の大きさとコミュニケーションをとる。
- 服などに汚れがないよう身だしなみに気を付ける。
- 「～様」と呼んだり、「です、ます」をつけて話すことが大切。

事務

- 手順を守ることの大切さ。
- ダブルチェックの大切さ。最初は1つできたら確認してもらう。
- 話を聞く時の態度の大切さ。
- 敬語で話す習慣を日々の学校生活で身につける。
- 体調管理をすること。
- 遅刻しない。時間を守ること。
- 相手に聞こえる声で挨拶すること。
- わからないことがあった時に質問をすること。
- 集中力を保つために水分補給をしたり、お手洗いに رفتりする。
- 担当者名、何が終わった、どうしてほしいか考えてから話す。〔報告・連絡・相談〕
- クッション言葉を使う
- 自分の親がどれだけ苦労して働いているのかわかりました。

保育

- 安全確保の大切さ。
- 実際に働くことの大変さ。
- 園児さんたちに合った接し方の意識の難しさ。
- 玩具の場所を覚えることの難しさ。

～課題を改善するのは普段の生活から～

短期インターンシップでは、一人ひとりそれぞれの課題が見えてきました。個別面談で示された評価と自己評価とを比べると、かなり“差”があったのではないのでしょうか。今後は、その“差”を縮めていくことが大切になっていきます。

具体的な課題の中に「元気な声であいさつや返事ができない」「報告・連絡・相談をためらっている」「忘れ物をしてしまった」「遅刻をしてしまった」などがあつたはずですが。このような課題は、普段の生活がそのまま出た結果であると感じます。「インターンシップではちゃんとやる」「やろうと思えばできる」と言う生徒もいますが、日々の学校生活、日常生活の中でできていないことは、外でもできません。企業の方はよく見えています。

2年生のインターンシップ、その先の現場実習、就労先で安定して自分の力を発揮するために、普段の生活から課題を意識し、改善しようと実際に取り組んでいくことが大切です。周りから注意や指摘を受け、アドバイスされることはあまり嬉しくないかもしれません。しかし、それは決して「怒られている」ではありません。

2年後に迫っている「就労」に向けて、今、逃げずに課題に向き合うことが求められます。課題を改善することは簡単ではありません。2年後に向けて、今から少しずつ取り組み、卒業する時に「頑張ってきた良かった！」と思えるように普段の生活から取り組んでいきましょう。

ぜひ、ご家庭でも、短期インターンシップで明らかになった「課題」について話題にいただき、家庭生活の中でも意識して取り組んでいくことをご指導いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

